

5 公益財団法人名古屋産業振興公社

令和6年7月1日現在

設立年月日	平成8年2月1日	代表者氏名	理事長 下山 浩司		
所在地	名古屋市千種区吹上二丁目6番3号	電話番号	052-735-2115		
ホームページアドレス	https://www.nipc.or.jp/				
資本金・基本金	215,390千円	市出資・出捐金	120,000千円 (55.7%)		
所管部局	経済局産業労働部産業企画課	電話番号	052-972-2412		
設立目的	産業技術の研究開発の促進及び普及啓発、産業に関する人材の育成、経営の支援、経済交流の促進等による中小企業者等への総合的な支援を通じて、市民福祉の向上に寄与すること並びにもものづくりをはじめとする地域産業の高度化及び新たな産業の創造・育成を図ることにより、中部圏の中核たる名古屋市の産業振興に寄与する。				
主な事業	事業名	令和5年度 事業費	事業の概要		
	新事業創出支援事業	894,998千円	中小企業デジタル活用支援事業、中小企業価格転嫁促進事業、ドローンロボット活用事業創出支援事業、創業や中小企業の新事業を支援するための窓口相談、企業訪問やセミナーの開催他		
	中小企業振興会館管理運営	614,076千円	名古屋市中心小企業振興会館の管理運営		
	デザインホール運営	225,572千円	デザインホールの管理運営		
役員数		常		勤 非 常 勤	
	役員数	4人 (うち市派遣)	1人 (うち市OB)	3人	16人
	職員数	42人 (うち市派遣)	7人 (うち市OB)	0人	56人
常勤役員平均報酬 <small>(市派遣職員を除く)</small>	6,480千円	正規職員平均給与 <small>(市派遣職員、臨時職員、嘱託職員等除く)</small>	5,800千円	正規職員平均年齢 <small>(市派遣職員除く)</small>	44.4歳
市からの財政支出		令和3年度	令和4年度	令和5年度	
	委託料	8,354千円	593千円	707千円	
	内 随意契約金額	(8,354千円)	(593千円)	(707千円)	
	補助金	1,613,345千円	2,884,147千円	1,259,918千円	
	指定管理料	49,335千円	56,847千円	69,849千円	
貸付金 <small>(年度末残高)</small>	8億円	8億円	7億円		
損益計算書 <small>(正味財産増減計算書)</small>	経常収益	2,654,047千円	4,051,833千円	2,572,914千円	
	経常費用	2,664,201千円	4,038,814千円	2,584,309千円	
	経常利益(損失)	▲ 10,154千円	13,019千円	▲ 11,395千円	
	当期利益(損失)	12,741千円	21,127千円	▲ 11,215千円	
貸借対照表	総資産	2,457,466千円	2,522,874千円	2,263,262千円	
	内 流動資産	(796,426千円)	(923,079千円)	(690,530千円)	
	内 固定資産等	(1,661,040千円)	(1,599,795千円)	(1,572,732千円)	
	総負債	1,337,224千円	1,400,950千円	1,160,806千円	
	内 流動負債	(489,911千円)	(602,979千円)	(407,490千円)	
	内 固定負債等	(847,313千円)	(797,971千円)	(753,316千円)	
	純資産(正味財産)	1,120,242千円	1,121,924千円	1,102,456千円	

経営に関する指標（共通指標）

5 公益財団法人名古屋産業振興公社

○法人の自立性		令和4年度	令和5年度	対前年度増減
市からの収入割合	$\left(\frac{\text{市からの委託料・補助金・指定管理料}}{\text{経常収益}} \right)$	72.6%	51.7%	▲20.9%
市との随意契約比率	$\left(\frac{\text{市との随意契約金額}}{\text{市からの委託料総額}} \right)$	100.0%	100.0%	0.0%
		令和5年7月1日現在	令和6年7月1日現在	対前年度増減
市職員の役員就任割合	$\left(\frac{\text{市職員の役員数}}{\text{役員総数}} \right)$	14.3%	15.0%	+0.7%
固有職員比率	$\left(\frac{\text{常勤固有職員数}}{\text{常勤職員数}} \right)$	83.3%	83.3%	0.0%
○組織運営の効率性		令和4年度	令和5年度	対前年度増減
管理費比率	$\left(\frac{\text{管理費}}{\text{経常費用}} \right)$	0.4%	0.6%	+0.2%
○財務の健全性		令和4年度	令和5年度	対前年度増減
自己資本比率	$\left(\frac{\text{純資産(正味財産)}}{\text{総資産}} \right)$	44.5%	48.7%	+4.2%
流動比率	$\left(\frac{\text{流動資産}}{\text{流動負債}} \right)$	153.1%	169.5%	+16.4%
固定長期適合率	$\left(\frac{\text{固定資産}}{\text{純資産+固定負債}} \right)$	83.3%	84.7%	+1.4%
借入金依存度	$\left(\frac{\text{借入金+社債}}{\text{総資産}} \right)$	29.8%	31.1%	+1.3%
剰余金(欠損金)	$\left(\frac{\text{純資産(正味財産)} - \text{基本金} \cdot \text{資本金}}{\text{ }} \right)$	906,534千円	887,066千円	▲19,468千円

○ 経営戦略計画（R5～R7）の概要

経営戦略方針	
<ul style="list-style-type: none"> ・新たな社会課題への対応に向けた取り組みを支援します ・新たな商品・サービスの創出を支援します ・企業間の交流を促進します 	<ul style="list-style-type: none"> ・生産現場の課題解決を支援します ・発展的な財団運営を進めます ・情報発信力を強化し、認知度の向上を図ります

主な経営戦略目標【戦略基軸】	主な成果指標(単位)	5 目標値	5 実績値
新たな社会課題への対応に向けた取り組みを支援します 【公共サービスの充実】	産学行政連携支援件数(件)	17	16
	新規採択件数(件)	2	4
	訪問企業数(社)	15	15
	講演会参加者数(名)	250	536
新たな商品・サービスの創出を支援します 【公共サービスの充実】 【財務内容の改善・向上】	重点支援成果達成企業(社) (新事業支援センター)	5	4
	重点支援成果達成企業(社) (nabi金山/白金)	2	2
	nabi金山/白金入居率(%)	83.5	88.7
	創業件数(件)	50	45
企業間の交流を促進します 【公共サービスの充実】 【財務内容の改善・向上】	展示会出展社数(社)	613	555
	マッチングに向けた取組件数(件)	3	3
	中小企業振興会館展示施設稼働率(%)	67.6	62.1
	デザインホール稼働率(%)	61.1	54.1
生産現場の課題解決を支援します 【公共サービスの充実】	専門家派遣(工業技術・技能指導)実施回数(回)	24	17
	研修・講習会受講者数(名)	276	276
発展的な財団運営を進めます 【人材力・現場力の強化】 【効率性の発揮と成果】	研修受講・資格取得者数(名)	6	6
	削減業務時間数(令和4年度比較)(時間)	100	430
情報発信力を強化し、認知度の向上を図ります 【効率性の発揮と成果】	メディア記載件数(件)	16	35